

様

要 望 書

広島港の物流・交流の拠点となる港湾機能の強化に関する要望

2018年（平成30年）7月25日

一般社団法人中国経済連合会
広島商工会議所
広島県

平素より国際拠点港湾広島港の整備拡充につきましては、格別のご理解とご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

広島港は、2018年は国際貿易港として開港してから70周年目、また2019年は広島港の前身である宇品港の築港から130年の節目の年を迎えています。

現行の広島港港湾計画は1999年に策定されたが、社会経済情勢や港湾物流の動向の変化を踏まえて、2016年7月に長期構想検討委員会を立ち上げ、港湾計画改訂作業を進めています。

長期構想検討委員会では30年後の広島港の将来像について議論しており、その中で、宇品地区のクルーズ客船受入施設の充実・強化および出島地区コンテナ物流拠点の充実・強化が求められています。

広島港では、年々大型クルーズ客船の寄港数が増加をしており、外国人観光客の増加に対応することが求められています。グローバル化に対応した広域的な交流・連携基盤の強化を図るため、主要な受け入れ拠点である宇品地区の大型クルーズ客船受入施設の充実・強化に、特段の御配慮を賜りますようお願いいたします。

また、広島港背後の広島都市圏には地域基幹産業である自動車メーカーをはじめ、多くの自動車関連産業が立地しています。これら自動車関連産業においては、世界的に競争が激化する中、国内における拠点整備や生産性向上に資する設備投資を実施するなど、海外生産拠点のみならず、国内でのものづくり産業の維持・拡充を図っています。そのため近年、自動車部品の輸出などの広島港での取扱が急増し、中国、ASEANとの貿易が増加傾向にあります。

地域産業の国際競争力の強化、国内生産拠点の維持、地域経済・雇用の堅持のため、出島地区コンテナ物流拠点の充実・強化に特段の御配慮を賜りますようお願いいたします。

つきましては、次の事項について強く提案・要望致します。

- 1 グローバル化に対応した広域的な交流・連携基盤の強化を図るため、宇品地区での大型クルーズ客船受入施設の充実・強化。
- 2 地域産業の国際競争力の強化，国内生産拠点の維持，地域経済・雇用の堅持のため，出島地区でのコンテナ物流拠点の充実・強化。

2018年（平成30年）7月25日

一般社団法人

中国経済連合会会長

荻田 知英

広島商工会議所会頭

深山 英樹

広島県知事

湯崎 英彦

物流・交流の拠点となる港湾機能の強化

ひろしま うじな
広島港 宇品地区 大型クルーズ客船受入施設 充実・強化
 でじま
出島地区 コンテナ物流拠点 充実・強化

事業効果：地域産業の国際競争力の強化，国内生産拠点の維持，地域経済・雇用の堅持およびグローバル化に対応した広域的な交流・連携基盤の強化

宇品地区

広島港への客船寄港回数・外国人乗客数の推移

年度	宇品(中・小型船) (回)	五日市(大型船) (回)	外国人乗客数 (人数)
23年度	20	0	2,660
24年度	21	0	4,494
25年度	29	0	7,743
26年度	18	0	3,273
27年度	27	5	16,268
28年度	38	13	44,713
29年度	33	15	56,671
30年度(予定)	43	15	-

広島港におけるクルーズ客船寄港回数及びクルーズにより寄港した外国人乗客数は年々増加

出島地区

コンテナターミナルの機能強化

(10億円) 韓国 中国 ASEAN 台湾 香港 その他アジア

(出典：貿易統計より)

広島港での中国, ASEANとの貿易額は増加傾向となっている

